

映画上映『ワクチンとバナナ』 と、お話しのお会



新型コロナワクチン
インフルエンザワクチン
HPVワクチン...

もっと知ろう！

ワクチン(予防接種)のこと



第39回地方の時代 映像祭2019
市民・学生・自治体部門

優秀賞

関西大学 / 里見ゼミ制作

上映 ワクチンとバナナ ～HPVワクチン訴訟・原告の声～

お話し 予防接種を打つ前に～情報を収集し、判断する力を身につけて～
話し手 / ワクチントーク全国・事務局長 青野典子さん

2020年
11月1日(日)

時間：13:00開場 13:30～16:30

場所：北杜市大泉総合会館
2階ホール

定員：50名

参加費：無料

連絡先：090-8101-6866(三浦)
090-1810-2862(油井)

タイムテーブル

- 13:30
開会あいさつ
- 13:40～14:30
映画上映「ワクチンとバナナ」
～HPVワクチン訴訟・原告の声～
- 14:45～15:45
お話し 予防接種を打つ前に
～情報を収集し、判断する力を身につけて～
話し手 青野典子さん
- 15:45～16:00
子宮頸がんワクチン(HPV)東京訴訟原告
(山梨県在住) 家族の声
- 16:00～16:30
質疑応答・意見交換

主催 そよ風 ～子どもの健康と予防接種について語りあう会～

開催にあたって

「新型コロナウイルス」、不自由な生活を元に戻し、経済回復のためにはワクチンしかないという待望論が沸き起こっています。現在、世界中で競って研究・開発が行われています。ワクチン開発は、通常では安全性や有効の確認までに10年以上かかるといわれていますが、今回のワクチンは期間短縮のために「新型バイオワクチン」が使われます。先端を走っているイギリスのメーカー「アストラゼネカ」の臨床試験では、被験者に“横断性脊髄炎”の症状が出て、試験が一時中断されるという事態が起きました。

いろいろな病気を予防し、重症化を防ぐ予防接種、私たちもその恩恵を受けています。一方で、子どもたちへの予防接種は年々ワクチンの種類や回数が増え、2種類以上のワクチンを1回で接種する“同時接種”も行われています。今回のコロナワクチンにも言えることですが、接種する人にメリット・デメリットを含め、十分な情報が提供されているのでしょうか？今回の映画と青野さんのお話から、私たちがワクチンに対してどのように考え、対応したらいいのか、そのヒントを受け取っていただけたら嬉しいです。



話し手プロフィール

(あおの・のりこ) 保育士。「ワクチントーク全国」事務局長。

「ちいさい・おおきい・よわい・つよい」

(ジャパンマニシスト社) 編集協力人。

著書に「予防接種は迷って、悩んでもいいんだよ」(同社)

映画「ワクチンとバナナ」制作に関わった学生さん(当時)から送られたメッセージ

このたびは「ワクチンとバナナ」の上映会という機会を頂戴し、幸甚に存じております。

最初、作品制作の話が持ち上がったとき、「HPVワクチン訴訟」の大きさゆえどう形にしていけるのか悩みました。議論の末に出した結論は、私たちと同世代の方々が起こした裁判だからこそ、「同じ目線」で伝えること。この思いを胸に「声」を集め続けました。取材を進める中で感じたのが、「弱者の立場に立つことの大切さ」です。彼女たちは、国や大きな企業など、力を持つ者に振り回されています。しかし、それにめげることなく前向きに懸命に生きているのです。この作品を通して、少しでも彼女たちの訴えに耳を傾ける人が増えれば、これほど嬉しいことはありません。



関西大学社会学部社会学科メディア専攻卒業生 今川 俊

あなたも「そよ風」に参加しませんか？

「そよ風」は、予防接種のこと、ワクチンのことなど、もっと知りたいと思う人たちが、相互に学び合い語り合うゆるやかなグループです。老若男女10人ほどが集まっています。

少人数の集まりでの“出前講座”もお受けしていますので、関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

【活動】定例会：月に1回(北杜市内一大泉総合会館の会議室など)

☆各地域での交流会の開催 勉強会 講演会 裁判傍聴

☆北杜市、甲府市への予防接種に関するアンケートの実施 ☆啓発チラシの作成

☆いろいろな団体・グループの会合に参加してお話や意見交換など

